

学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

※実際はインターネット回答

I. 基本調査

問1 ご回答された方の役職を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 校長
2. 副校長・教頭

問2 貴校の学校区分を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 小学校
2. 中学校、義務教育学校
3. 高等学校（全日制）
4. 高等学校（定時制）
5. 高等学校（通信制）
6. 中等教育学校
7. 特別支援学校
8. その他

問3 貴校の所在地を教えてください。

※30市町村の選択肢より回答

問4 中学校については中学2年生、高等学校については高校2年生の人数を教えてください。

(令和3年8月1日時点)

中学2年生（中等教育学校2年を含む）() 人 高校2年生（中等教育学校5年を含む）() 人

II. 支援が必要だと思われる子どもの対応についてお伺いします。

問5 SSW、SCの派遣・配置状況をお伺いします。

(1)SSWの派遣・配置状況(あてはまる番号1つに○)

1. 週に2～3回以上派遣・配置されている
2. 週に1回程度派遣・配置されている
3. 月に数回以下で派遣・配置されている
4. 要請に応じて派遣される
5. その他()
6. 派遣・配置されていない

(2)SCの派遣・配置状況(あてはまる番号1つに○)

1. 週に2～3回以上派遣・配置されている
2. 週に1回程度派遣・配置されている
3. 月に数回以下で派遣・配置されている
4. 要請に応じて派遣される
5. その他()
6. 派遣・配置されていない

問6 下記の子どもについて校内で共有しているケースはありますか。

1. ある
2. 特に共有しているケースはない☒

(1) 校内で共有しているのは、どのようなケースですか。あてはまるものを、すべて選んでください。

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごすことが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾の必要な書類等の提出が遅れることが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 部活動を途中でやめてしまった
11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
12. 学校納付金が遅れる、未払い
13. その他()

問7 問6のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。最も多いケースでご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|--|
| 1. 不登校の子どものケースに関し、校内の分掌・委員会等で検討している →問8へ |
| 2. 不登校以外の子どものケースに関し、校内の分掌・委員会等で検討している →問8へ |
| 3. 個別に対応している(決まった検討体制はない) →問9へ |

問8 <問7で「1. 不登校の子どものケースに関し、校内の分掌・委員会等で検討している」、「2. 不登校以外の子どものケースに関し、校内の分掌・委員会等で検討している」と回答した方にお伺いします。>
校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

(1) 情報共有・対応の検討の方法等(あてはまる番号すべて○)

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. スクリーニング会議(※) | 5. 教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名 |
| 2. ケース会議 | |
| 3. 生徒指導部・委員会など | |
| 4. 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有 | 6. その他() |

※スクリーニング会議：全ての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家族を適切な支援につなぐための迅速な認識を行う会議。Q-Uの実施、情報共有など。

(2) <(1)で「1. スクリーニング会議」「2. ケース会議」「3. 生徒指導部・委員会など」、「6. その他」と回答した方にお伺いします。>

どの教職員が参加していますか。また、会議の頻度はどれくらいですか(あてはまる欄に番号を記入)

①. スクリーニング会議の「参加者」

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 校長 | 7. SSW |
| 2. 副校長・教頭 | 8. SC |
| 3. 学年主任 | 9. 外部の関係機関 |
| 4. 担任教諭 | () |
| 5. 生徒指導教諭 | 10. その他 |
| 6. 養護教諭 | () |

①. スクリーニング会議の「頻度」

- | |
|-------------|
| 1. 2週間に1回以上 |
| 2. 月に1回程度 |
| 3. 学期に1回程度 |
| 4. 半年に1回程度 |
| 5. 年に1回程度 |

②. ケース会議の「参加者」

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 校長 | 7. SSW |
| 2. 副校長・教頭 | 8. SC |
| 3. 学年主任 | 9. 外部の関係機関 |
| 4. 担任教諭 | () |
| 5. 生徒指導教諭 | 10. その他 |
| 6. 養護教諭 | () |

②. ケース会議の「頻度」

- | |
|-------------|
| 1. 2週間に1回以上 |
| 2. 月に1回程度 |
| 3. 学期に1回程度 |
| 4. 半年に1回程度 |
| 5. 年に1回程度 |

③. 生徒指導部・委員会などの「参加者」

1. 校長	7. SSW
2. 副校長・教頭	8. SC
3. 学年主任	9. 外部の関係機関
4. 担任教諭	()
5. 生徒指導教諭	10. その他
6. 養護教諭	()

④. その他の「参加者」

1. 校長	7. SSW
2. 副校長・教頭	8. SC
3. 学年主任	9. 外部の関係機関
4. 担任教諭	()
5. 生徒指導教諭	10. その他
6. 養護教諭	()

③. 生徒指導部・委員会などの「頻度」

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 学期に1回程度
4. 半年に1回程度
5. 年に1回程度

④. その他の「頻度」

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 学期に1回程度
4. 半年に1回程度
5. 年に1回程度

問9 <問7で「3. 個別に対応している」と回答した方にお伺いします。>

問6のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。

関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にご回答ください。

--

問10 問6のケースについて、学校外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについて、お答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。

①要保護児童対策地域協議会の登録ケース(あてはまる番号1つに○)

1. ある	2. ない
-------	-------

「ある」場合、連携する関係機関をお聞かせください。(あてはまる番号すべて○)

1. 市区町村教育委員会	6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
2. 市区町村名の福祉部門 <small>(要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門)</small>	7. 児童相談所
3. 市区町村名の保健部門	8. 民生委員
4. 市区町村名の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門	9. 病院
5. 教育支援センター(適応指導教室)	10. 警察や刑事司法関係機関
	11. その他()

②①以外のケースで児童虐待、貧困、暴力、家出ぐ犯、非行等のケース(あてはまる番号1つに○)

1. ある	2. ない
-------	-------

「ある」場合、連携する関係機関をお聞かせください。(あてはまる番号すべて○)

1. 市区町村教育委員会	6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
2. 市区町村名の福祉部門 <small>(要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門)</small>	7. 児童相談所
3. 市区町村名の保健部門	8. 民生委員
4. 市区町村名の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門	9. 病院
5. 教育支援センター(適応指導教室)	10. 警察や刑事司法関係機関
	11. その他()

③不登校、欠席が多いケース

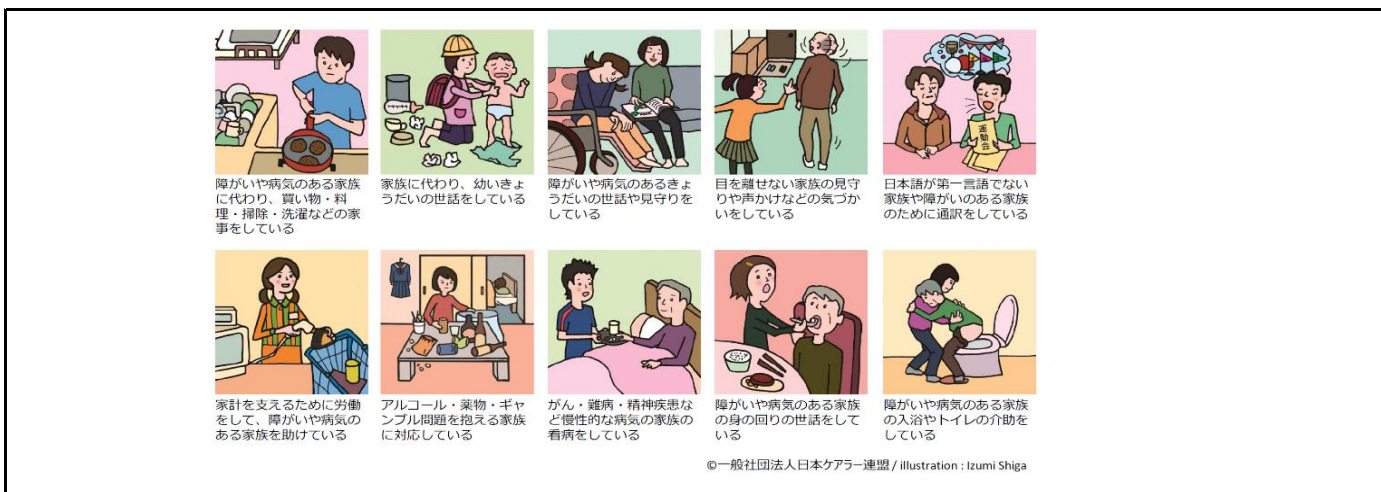
1. ある	2. ない
-------	-------

「ある」場合、連携する関係機関をお聞かせください。(あてはまる番号すべて○)

1. 市区町村教育委員会	6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
2. 市区町村名の福祉部門 <small>(要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門)</small>	7. 児童相談所
3. 市区町村名の保健部門	8. 民生委員
4. 市区町村名の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門	9. 病院
5. 教育支援センター(適応指導教室)	10. 警察や刑事司法関係機関
	11. その他()

Ⅲ. ヤングケアラーについてお伺いします。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。ヤングケアラーの定義を踏まえて、以下の設問にお答えください。



問11 貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 言葉を知らない →問14へ
2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない →問14へ
3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない 問14へ
4. 言葉を知っており、学校として特別に対応している →問12へ

問12 <問11で、「4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した方にお伺いします。>

「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握に努めていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 把握に努めている →問13へ
2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない →問14へ
3. 現在、該当する子どもはいないと思われる →問14へ

問13 <問12で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。>

「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。(当てはまる番号すべてに○)

1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している
3. その他()

問14 全員にお伺いします。

現在、貴校にヤングケアラーと思われる(可能性も含めて)子どもはいますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. いる →問15へ
2. いない →問17へ
3. 分からない →問16へ

問15 <問14で「1. いる」と回答した方にお伺いします。>

(1)ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4. 目を離せない家族の見守りや声掛けをしている
5. 家族の通訳をしている(日本語通訳や手話通訳など)
6. 家計を支えるために、アルバイト等をしている
7. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
8. 病気の家族の看病をしている
9. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
10. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
11. その他()

(2)ヤングケアラーと思われる子どもについて、これまでに具体的に学校以外の関係機関(教育委員会、行政、要保護児童対策地域協議会など)の支援につないだケースはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 要保護児童対策地域協議会に報告、相談したケースがある →(3)へ
2. 要保護児童対策地域協議会に報告、相談するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある →(3)へ
3. 「要保護児童対策地域協議会に報告、相談したケース」もあり、「要保護児童対策地域協議会に報告、相談するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケース」もある→(3)へ
4. 外部の支援につないでいない(学校内で対応している) →(4)へ

<上記で「2. 要保護児童対策地域協議会に報告、相談するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだ」、
「3. 要保護児童対策地域協議会に報告、相談したケース」もあり、「要保護児童対策地域協議会に報告、相談する」と回答した方は>、つないだ関係機関を選択肢の中から選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

<関係機関:選択肢>

1. 県市区町村教育委員会
2. 市区町村名の福祉部門(要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門を除く)
3. 市区町村名の保健部門
4. 市区町村名の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門
5. 教育支援センター(適応指導教室)
6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
7. 児童相談所
8. 民生委員
9. 病院
10. 警察や刑事司法関係機関
11. その他 ()

(3) <(2)で「1. 要保護児童対策地域協議会に報告、相談したケースがある」、「3. 要保護児童対策地域協議会に報告、相談したケース」もあり、「要保護児童対策地域協議会に報告、相談する」と回答した方に伺います。>それぞれの該当する直近のケースについて、1件ずつお教えてください。

①要保護児童対策地域協議会に報告、相談するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだ直近のケースの子どもについて、教えてください。

性別(1つに○)	1. 女性	2. 男性	3. その他
学年(1つに○)	1. 小学1～6年	4. 中学3年	7. 高校3年
	2. 中学1年	5. 高校1年	
	3. 中学2年	6. 高校2年	
学校生活の状況 (すべてに○)	1. 学校を休みがちである 2. 遅刻や早退が多い 3. 保健室で過ごしていることが多い 4. 精神的な不安定さがある 5. 身だしなみが整っていない 6. 学力が低下している 7. 宿題や持ち物の忘れが多い 8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出が遅れることが多い 9. 学校に必要なものを用意してもらえない 10. 部活動を途中でやめてしまった 11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する 12. 学校納付金が遅れる、未払い 13. その他()		
家族構成 (すべてに○)	1. 母親	3. 祖母	5. きょうだい
	2. 父親	4. 祖父	6. その他()
家族でのケアの状況 (すべてに○)	①学校はケアの状況を把握しているか → はい ・ いいえ ②「はい」の場合、ケアの具体的な内容 a)ケアを必要としている人 1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. きょうだい 6. その他() b)ケアを必要としている人の状況 1. 高齢(65歳以上) 2. 若い 3. 要介護(介護が必要な状態) 4. 認知症 5. 身体障がい 6. 知的障がい 7. 精神疾患(疑い含む) 8. 依存症(疑い含む) 9. 「精神疾患」「依存症」以外の病気 10. その他() 11. わからない c)ケアの内容 1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯) 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など 3. 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) 4. 外出の付き添い(買い物、散歩など) 5. 通院の付き添い 6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) 7. 見守り 8. 通訳(日本語や手話など) 9. 金銭管理 10. 薬の管理 11. その他() 12. わからない		
ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ			
要保護児童対策地域協議会への通告ルート	1. 市区町村教育委員会経由 2. 学校から直接連絡 3. その他()		
学校で行った支援(要対協との連携も含めて)			
支援した結果、子どもの変化			

(3) <(2)で「2. 要保護児童対策地域協議会に報告、相談するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだ」
 「3. 要保護児童対策地域協議会に報告、相談したケース」もあり、「要保護児童対策地域協議会に報告、
 相談する」と回答した方に伺います。>それぞれの該当する直近のケースに付いて、1件ずつお教えてください。

学年(1つに○)	1. 中学()年	2. 高校()年
学校生活の状況 (すべてに○)	1. 学校を休みがちである 2. 遅刻や早退が多い 3. 保健室で過ごしていることが多い 4. 精神的な不安定さがある 5. 身だしなみが整っていない 6. 学力が低下している 7. 宿題や持ち物の忘れが多い	8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出が遅れることが多い 9. 学校に必要なものを用意してもらえない 10. 部活動を途中でやめてしまった 11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する 12. 学校納付金が遅れる、未払い 13. その他()
家族構成 (すべてに○)	1. 母親 2. 父親	3. 祖母 4. 祖父 5. きょうだい 6. その他()
家族でのケアの状況 (すべてに○)	①学校はケアの状況を把握しているか → はい ・ いいえ	
	②「はい」の場合、ケアの具体的な内容	
	a)ケアを必要としている人 1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. きょうだい 6. その他()	b)ケアを必要としている人の状況 1. 高齢(65歳以上) 2. 幼い 3. 要介護(介護が必要な状態) 4. 認知症 5. 身体障がい 6. 知的障がい 7. 精神疾患(疑い含む) 8. 依存症(疑い含む) 9. 7.8以外の病気 10. その他() 11. わからない
c)ケアの内容 1. 家事食事の準備や掃除、洗濯 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など 3. 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など) 4. 外出の付き添い(買い物、散歩など) 5. 通院の付き添い 6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど) 7. 見守り 8. 通訳(日本語や手話など) 9. 金銭管理 10. 薬の管理 11. その他() 12. わからない		
ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ		
つないだ関係機関	1. 県市区町村教育委員会 2. 市区町村名の福祉部門 <small>(要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門)</small> 3. 市区町村名の保健部門 4. 市区町村名の要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門 5. 教育支援センター(適応指導教室)	
外部機関へのつながり	6. フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設 7. 児童相談所 8. 民生委員 9. 病院 10. 警察や刑事司法関係機関 11. その他()	
学校で行った支援等(要対協との連携も含めて)	1. 市区町村教育委員会経由 2. 学校から直接連絡 3. その他()	
支援した結果、子どもの変化		

(4) (2)で「3. 外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している)」と回答にお伺いします。

外部の支援につながらなかった理由を教えてください。また、どのようなに対応しているのかお教えてください。

理由	
対応方法	

(5) ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気を付けていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

--

(6) ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

--

(7) 問6の選択肢は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したものです。追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。

ご意見	
改善案	

〈参考:問6の選択肢〉

<input type="checkbox"/> 学校を休みがちである	<input type="checkbox"/> 保護者の承諾が必要な書類等の提出が遅れることが多い
<input type="checkbox"/> 遅刻や早退が多い	<input type="checkbox"/> 学校に必要なものを用意してもらえない
<input type="checkbox"/> 保健室で過ごしていることが多い	<input type="checkbox"/> 部活動をやめてしまった
<input type="checkbox"/> 身だしなみが整っていない	<input type="checkbox"/> 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
<input type="checkbox"/> 学力が低下している	<input type="checkbox"/> 学校納付金が遅れる
<input type="checkbox"/> 宿題や持ち物の忘れ物が多い	

問16 < 問14で「3. 分からない」と回答した方にお伺いします。 >

その理由をお教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が低いと捉え、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
3. 家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
5. その他()

問17 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
2. 教職員がヤングケアラーについて知ること
3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
4. SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること
5. 子どもが教職員に相談しやすい環境をつくること
6. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
9. ヤングケアラーを支援するNPO法人などの団体が増えること
10. 福祉と教育の連携を進めること(具体的に:)
11. その他()
12. 特にない

問18 ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。